

2017 年早春 西神戸神出の里の雌岡山梅林を訪ねる 2017.2.26.
春を運ぶあたたかな陽気に 弥生 3 月 どこかで春が生まれてる



弥生 3 月 各地の梅だよりが伝えられ、暖かな陽光にキラキラ光る須磨の海。そして、菜の花が近くの丘を真っ黄色に染め、自宅ではサクラソウの花も咲きだしました。どこかで 春が生まれてる。

毎年この時期 春を探しに出かける西神戸 神出の里の雌岡山。気になる時節に・・・・・・

子午線が走る明石の街の北 西神戸の丘陵地「神出」の里に美しい三角形をしたほぼ同じ高さの二つの山 雌岡山(標高 249m) 雄岡山(標高 241m) が東西に並ぶ。

「神出」の地名の由来は大己貴(大国主命)が、雌岡山上に天降りして、ここで百八十一柱の神々を生んだので、この地を「神出」というようになったと伝えられ、雌岡山の山頂に古代鍛冶神「スサノオ」「タマヨリヒメ」「大己貴(大国主命)」を祭るこの地の守り神「神出神社」が、神宿る里そして鍛冶伝承の地である。



西神戸 神出の里 南神出の田園から眺める雌岡山 2017.2.26.

西神戸の田園地帯の南 遠く明石海峡・淡路島を正面に見下ろして、

スサノオ、クシナダヒメとオオナムチを祭る神の座す山 雌岡山

雌岡山山腹をピンクに染める梅林 そして林の中でひっそり咲く雪割草・カタクリの花

野鳥の声を聴きながらたどり着いた山頂から眺める東播磨・海峡の春の大展望

みんな神出の里で生まれる春景色



神出の里の春 2017.2.26.

弥生 3 月の訪れ 各地の梅だよりが伝えられ、菜の花が近くの丘を真っ黄色に染めている。

そろそろ遠く明石の海を見下ろす雌岡山の梅も満開になる頃。山頂近くの林の中カタクリはまだにしても、今頃雪割草がひっそりと可憐な顔を出しているだろう また、雑木林の中を抜け、ほんの 30 分足らずで頂上にたどり着いた神出神社の展望所から眺める大展望 東播磨の里の春景色も魅力。ため池が広がる広大な神出の里の田園地帯では農作業がはじまり、フキノトウや土筆も顔を出す。



神出の里・雌岡山の春の訪れ どこかで春が生まれてる

あたたかな春の陽光が降り注ぐ、2 月 26 日朝

春を見つけに 今年も西神戸神出の里の雌岡山に春を見つけに出かけました。

いつもは、自宅から原チャリなんですが、今回は神出の里までバスで行って、そこから歩くことに。

久しぶりの雌岡山 春の息吹をもとめて ゆったりと歩きました。

1. 神出の里 神出南の田園地帯 子午線上の道をまっすぐ 北の雌岡山へ 2017.2.26.



まっすぐ北に雌岡山が見える神出南のバス停に降り立ったのは午前 11 時。地下鉄・バスを乗り継いでの神出の里。原チャリだとずっと来れるのですが、時間がかかる。

晴れ上がった空の向こうに見える雌岡山まで、広い大地いっぱいに田園がひろがっている。昨年はこの田園で見た菜の花・フキノトウをさがしながら、北の雌岡山へ向かおう。

前から一度歩いてみたかった雌岡山正面の麓にある子午線標識からまっすぐ南に延びる子午線の道を歩いて、山に登ろうと。

久しぶりの神出の里 胸いっぱい 里の空気を吸い込んで歩き出す。集落の中 雌岡山南の田園地帯を眺めながらバス道を少し戻るとまっすぐ北へ延びる子午線道との十字路である。



雌岡山南麓に建つ子午線標識



写真中央 電柱が立っている道が私が子午線道と呼ぶ道 2017.2.26.

左手白い建物神出中学校の横に子午線標識があり、また 雌岡山の頂上に神出神社が小さく見えている



神出の里・雌岡山 walk の google Earth 関係図

「子午線道」は私が勝手に読んでいる道で、正確には子午線上ではないのですが、南から北へ子午線標識へまっすぐ南北に神出の田園地帯を伸びる道で、雌岡山頂上の展望所からも 南北にまっすぐ伸びる道がよく見え、勝手にそう呼んでいます。



雌岡山麓の子午線標識にまっすぐ伸びる私が勝手に「子午線道」と呼んでいる道 (1) 2017.2.26.



雌岡山麓の子午線標識にまっすぐ伸びる私が勝手に「子午線道」と呼んでいる道 (2) 2017.2.26.



明石から北の雌岡山へ まっすぐ続く日本標準時子午線の道 2017.2.26

北正面には日本標準時子午線標識がある山麓の学校までまっすぐ伸びる道。また反対側のみなみへは明石の海岸線へ向かってまっすぐ伸び、道の東には雌岡山が小さく見えてる。時間はちょうど昼前 私の影が道の中央子午線標識に向いている。ごく普通の農道・生活道路がこんなにまっすぐ見渡せるのにも驚きです。ぽかぽか陽気の中 この道を雌岡山へ。残念ながら 道端の菜の花・フキノトウは見つけられず。今年は冷たい風が吹いた精かも。昨年見つけた場所はもう少し東の畑。帰得るときにもう一度探そう。





山麓を東西に走る舗装道路がみえると子午線標識で 雌岡山への登り口 2017.2.26.
いつもは見すごす茅葺の建物が山麓へ出るすぐ手前にありました。貸農園や農業体験 周辺に点在するため池巡りなど楽しい里づくりを進める神出「めっこうファーム」の建物で、 雌岡山の北側にある楽農センター「かんでかんで」しか知りませんでした。南側でも新しい里づくりが進んでいることを知りました。



登山口はこの山麓の少し東側 神出神社の大鳥居から山腹を西から北へ巻きながら頂上神出神社へ至る舗装道路の参道がありますが、この子午線標識からも古い鳥居をくぐり、巻き道の車道を横切って まっすぐ切通しの山道を登って 山腹の南側を頂上へ至る旧参道がある。カタクリの群生地から頂上へ行きたいので、鳥居をくぐって すぐ上で舗装道路に出て、西への道を登ってゆく。山腹は雑木林に包まれ、あたたかい日差しの中野鳥の声を聞きながら、ゆったりと登ってゆく。15 分も登れば頂上直下北山腹のカタクリ群生地。雑木林の間からは先ほ



ど歩いてきた子午線道がこっちへまっすぐ続いているのが見える。

里はまだ モノトーンであるが、雌岡山中は緑に包まれた緩やかな坂道。山腹を北側に回り込んだところで、金網に囲まれて カタクリ群生保護地が見えてくる。通いながた道である。



2. 雌岡山 頂上直下のカタクリ群生保護地 2017.2.26.

カタクリはまだ土の中 でも可憐な雪割草が保護地の端でひっそり咲いていました



雌岡山 頂上直下の北斜面 カタクリ群生保護地

2017.2.26.

階段を登って、山の北斜面に整備された保護地へ入り、見渡すが、緑がほとんど見えない。 まだ ここは冬か?? カタクリは冬眠中。

いつも雪割草が顔をのぞかせてくれる保護地の端のところに目を移すと、今年も雪割草が少し花を咲かせていました。一瞬 消えてしまったのか? と思いましたが、昨年よりもちょっと遅いようですが、真っ白な花びらの縁を淡いピンクに染めて、雪割草が咲きだしていました。

「春が生まれている」と思わせる清純な花 今年も出会えてよかったと。



雌岡山の北斜面の林の中にそっと顔を出す雪割草 2017.1.26.
昨年はもっと早く咲いていたのですが、今年はまだ ちよつと早かったようだ



雌岡山の北斜面の林の中に
早春そっと顔を出す雪割草
2017.1.26.



雌岡山の北斜面の林の中にそっと顔を出す雪割草 2017.1.26.

人知れずひっそりと春の到来を教えてくれる雪割草。梅の花とともに、雌岡山の春を告げる愛らしい花です。

カタクリが咲きだすとにぎわうのですが、今はだれもない静かな林の中。

雪ではありませんが、落ち葉を掻きわけてそっと顔を出す。

うれしいねえ 今年も来れてよかった

「春が生まれてる」と実感する

この群生地をそのままよじのぼると 雌岡山の頂上 神出神社の境内である

3. 雌岡山頂上 神出神社からの西神戸 明石平野の大展望



雌岡山頂上神出神社の南側 西神戸から東播磨の海岸部を一望できる展望台 2017.2.26.



雌岡山頂上 神出神社 2017.2.26



雌岡山頂上 神出神社前 南に開けた展望台がある 2017.2.26.
今日は日曜日なので、いつになくハイキングの人たちが多い

神出神社については何度か紹介してきましたので今年は省略。眼下に広がる西神戸・明石海峡そして東播磨の大展望はいつ来ても心地よい。遠く遠望する西六甲連山 中央には春霞に煙る明石海峡と明石大橋 そして西に加古川の工業地帯が霞んでぼんやり浮かんでいる。その前には西神戸のニュータウン群もぼんやりと。そして直下には いくつかのため池が点在する田園地帯の中、神出の里が広がる。 眼下東端には優美な三角錐姿の雌岡山が座っている。この膨大なパノラマ。案内板と見比べながら、場所の特定を飽きることなく・・・・・・。



雌岡山南側に広がる春の霞に煙る西神戸から東播磨の大展望 眼下にはため池が点在する神出の里の春景色



春霞に浮かぶ明石大橋と淡路島の島影 2017.2.26.



4. 梅満開 雌岡山東斜面に広がる雌岡山梅林



頂上から雑木林の中を東へ少し下るとパッと視界が開け 満開の梅 2017.2.26.



雌岡山梅林の東に雄岡山が見える 2017.2.26.
日曜日で 梅を楽しむ人が梅林のあちこちに



雌岡山梅林で 2017.2.26.





雌岡山の東山腹に広がる雌岡山梅林 2017.2.26.



雌岡山梅林で 2017.2.26.



雌岡山梅林で 2017.2.26.



雄岡山麓で 2017.2.26



雄岡山神社で 2017.2.26



東側出口のすぐ前は 雄岡山と雌岡山の間の金棒池
雄岡山が池に優美な姿を映している



雌岡山の東側からの登り口



5. 雌岡山の東から南へ いつも原チャリを走らせる道を下って帰路に



毎年2月の末に 春を探して出かける雌岡山 今年も春景色を見つけることができました
今年下旬 晴天がつづいたものの 冷たい風が吹き抜け、ちょっと春が遅れているようだ
でも 心地よい春が生まれる田園の里に身を置いて 楽しい一日でした。
不漁になると聞き、気になっていた 神戸の春の風物詩 イカナゴの新子漁
その解禁日は3月7日と 今年も随分遅く、不漁のようだ
待ち遠しい春 元気に前向いてと

2017.3.1. 雌岡山の春の整理をしながら・・・

by Mutsu Nakanishi

◎ 参考 2017年早春 西神戸神出の里の雌岡山梅林を訪ねる 2017.2.26.

春を運ぶあたたかな陽気に 弥生3月 どこかで春が生まれてる

動画とPhoto Album を下記にサイトに入れています。

◆ スライド動画 file: [2017 早春 西神戸神出の里の雌岡山梅林を訪ねる 2017.2.26.](http://www.infokkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1703kandenoharu.mp4)

<http://www.infokkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1703kandenoharu.mp4>

◆ Photo Album : [2017 早春 西神戸神出の里の雌岡山梅林を訪ねる 2017.2.26.](http://www.infokkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1703kandenoharuphoto.pdf)

<http://www.infokkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1703kandenoharuphoto.pdf>